



参考資料

2004 年 1 月 13 日

国土交通省

～ ビジット・ジャパン・キャンペーンの訪日促進ビデオ～

小泉純一郎 内閣総理大臣出演!!

「ようこそ! ジャパン」



【ビジット・ジャパン・キャンペーンについて】

日本人の海外旅行者は年々増え続け、2002年に1,652万人に達しました。これに対し、同年に日本を訪れた外国人旅行者は524万人であり、海外を訪れた日本人旅行者の3分の1以下と少なく、諸外国と比較しても、2001年で世界第35位と極めて低い水準にあります。また、国際旅行収支も年間約3兆5000億円の赤字となっています。

訪日外国人旅行者の増大は、我が国経済への効果はもとより、国際相互理解、とりわけ外国人の日本に対する理解を深めるとともに、日本人自身も日本の魅力や問題点等を見直し、日本の改革を進める契機となるものです。

このため、政府においては、小泉首相自らが訪日外国人旅行者を2010年までに1000万人に倍増するという目標を掲げ、2003年7月には全閣僚をメンバーとする観光立国関係閣僚会議において観光立国行動計画を策定するなど、観光立国の実現に向けて政府を挙げて取り組んでいます。

「ビジット・ジャパン・キャンペーン」は、この一環として、外国人旅行者の訪日を飛躍的に拡大することを目的とし、国、地方公共団体及び民間が共同して取り組む、国を挙げての戦略的なキャンペーンであり、2003年4月より本格的な事業展開を行っています。

今回小泉首相に自らご登場願ひ、多くの方の目にとまるビデオを制作致しました。このビデオによって、一層の観光大国・日本の理解促進を進めて参ります。

■ ビデオについて

【ようこそ！ ジャパン】

キーワードは「ようこそ」という言葉。「ようこそ」は、わざわざ来てくださった方に感謝の意と、もてなしの心を表現する日本語です。ビジット・ジャパン・キャンペーンのロゴマークにも使われているこの美しい日本語の響きをキーワードに、今回のビデオを企画しました。

ビデオでは、首相自らが、日本のいいところを紹介していきます。伝統文化、最先端テクノロジー、東洋と西洋が混じり合った魅力、そして「どうぞ、日本を訪問してください」「ようこそと笑顔でお迎えしたいと思います」と語りかけます。

また、ビデオのポイントは小泉首相の温かい笑顔です。日本国民を代表する温かい笑顔と「ようこそ」という言葉。

「ようこそ」というキーワードと小泉首相の笑顔と優しい語りが、海外からのお客様を温かく迎え、もてなす心を表現していきます。

■ ストーリーボード（30秒、日本語／英語バージョン）

<ナレーション抜粋>



こんにちは。小泉純一郎です。
世界の皆さん、日本にもいいところがたくさんあります。
どうぞ日本を訪問してください。

Hello.I am Junichiro Koizumi.
I wish to welcome people from around the world to visit Japan.



伝統文化と最先端テクノロジー。

Tradition,technology.



外国からおみえになる皆様を「ようこそ！」と、
笑顔でお迎えしたいと思います。

We will welcome you with a hearty "yokoso" and smile.



(ダイビングの女性、ねぶた祭の女性、たこ焼き屋の主人、舞妓さんが各々)
『ようこそ』

『Welcome』



さあ、日本のドアを開けてください。
ようこそ日本へ

Step forward and open the doors to Japan.
Welcome to Japan.



『ようこそ、ようこそ、ジャパン！』

『Yokoso,Yokoso Japan!』

